令和4年10月 // 第32号　三重県介護支援専門員協会桑員支部

そういんNEWS

「顔の見える関係から」 から 「語り合える関係」 に
～発言力がある組織づくりを目指して～

支部長　**佐藤 久美**（居宅介護支援スィート）

令和４年度　新体制　スタート

２年任期で、今年度も引き続き支部長をさせて頂きます。
長引くコロナ禍、先行き不透明な「ポストコロナ時代」。研修や会議がオンラインとなり、連携方法の見直し等、介護支援専門員として業務展開も変化しつつあります。私たちの仕事は「高齢者のライフライン」であり、どんな状況下でも必要とされています。そして、自身が仕事にやりがいと充実感がなければ、人の応援はできません。
今迄以上に、横の繋がりを通感しており、会員の皆様と一緒に支部を盛り上げていけるよう活動して参ります。宜しくお願い致します。

副支部長　長谷川 真介
（伊賀町居宅介護支援事業所）

私が役員を担当させて頂く時に「幾度の制度改正で私たちの取り巻く環境が大きく変わり独立性や専門性を求められきた時に介護支援専門員協会は、発足時から会員皆様が力を合わせて乗り越えてきた。」とお聞きしました。先人の方が積み上げてきた桑員支部がコロナ禍でも負けずに、会員の皆様が乗り切れるように会の運営に努めてまいりたいと思いますのでお力添えやご指導頂けますようにお願い致します。

副支部長　江口 雅子
（東員町第二地域包括支援センター）

今年度より、副支部長を務めさせていただきます。

介護保険制度が始まって23年。当初と比べ、利用者様の課題も複合化し、日々ご苦労されていることと思います。
そんなケアマネジャーさんと共に学び、相談しあえる存在に桑員支部がなれるように尽力します。よろしくお願いします。

副支部長　島村 智之
（ザ・ぷらん木もれび）

今年度から副支部長を務めさせていただく事になりました。
まだ数か月しか経っていませんが、今までの支部運営が円滑に行われていたのは諸先輩方のご尽力の賜物だとあらためて痛感しております。ありがとうございました。
今後は会員の皆様方のご理解、ご協力を得ながら、今まで以上に円滑な支部運営が継続出来るよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

総務部会　部会長：　花井 裕子
（ヨナハケアプランセンター）

今年度の総務部会では
① 会員名簿のデータ化と配布物を郵送からメール配信へ移行していくこと
② 地域ケア会議にアドバイザーを派遣することで、介護支援専門員の質の向上を目指すこと
③ 職能団体として会員を増やすこと
を重点項目として取り組んでいくことになりました。
コロナ禍が続き会議や研修会のスタイルも大きく変わりました。会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

研修部会　部会長：　中道 尚美
（桑名市在宅医療・介護連携支援センター）

長引くコロナ禍の影響により、今年度もZoomを活用したオンライン研修会を年6回計画しています。会員の皆様からのアンケート結果を参考に、資質向上及び、実践に役立つ旬な話題を提供できるように、研修委員の皆さんと共に円滑な企画・運営に努めてまいります。　今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

広報部会　部会長：　小川 隆央
（さんあい薬局ケアプランセンター）

広報部会と致しましては、以下のことに取り組んで参ります。
○広報誌発刊による情報の発信
○メール配信やゆめはまちゃんネットワーク等による情報提供の推進
○会員同士の新たな交流機会の構築
より皆さまのお役に立てるよう、新たな取り組みにもチャレンジしていきます。
皆さまのご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

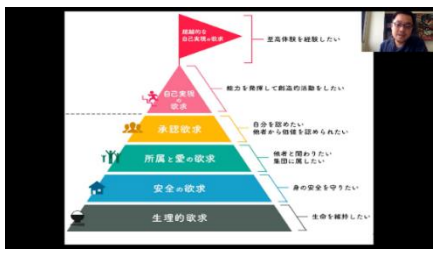
メール配信への「変更」のお願い

現在桑員支部では研修案内などをタイムリーに提供できるよう、メール配信での情報提供に力を入れております。
研修会の動画配信も行っており、現在メール会員様には視聴用URLをお送りしておりますが郵送会員様にはお伝えできておりません。
研修や会議などオンライン業務が日常化してきている今、ぜひ郵送から「メール」での配信へ
変更の手続きをお願い致します。

★ QRコードを読み取り、連絡先情報からフォームに従って入力し、送信してください

記念講演会/第1回研修会
「人を幸せにする医療介護」

日時：令和４年5月20日（金）
講師：国民健康保険 志摩市民病院
院 長 江角 悠太 氏



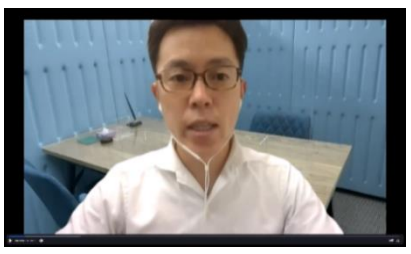
会員限定
参加者：６６名

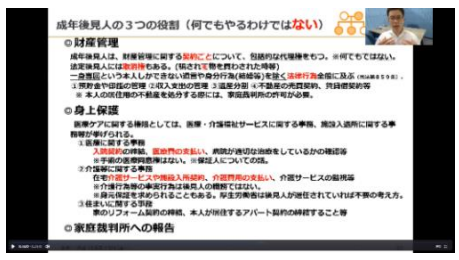
少子高齢化、人口減少という新たな時代に対し、日本のしあわせのためには今までとは違う新たなことを始める事が大切、という地域包括ケアの内容からスタートしました。利用者の意思決定支援や地域で支える様々な看取りの事例等、実体験を交えた話から在宅医療や地域づくりに対する先生の熱い思いが伝わってくる内容でした。

アンケートより
志摩市民病院は江角先生だけではなく、他の先生も他職種の方も同じを思いで患者さんの事を考えているので、仕事をしていて楽しいしその人の思いを最期の時に叶えるにはどうしたら良いか、考える力がついていくのだろうなと思いました。

第２回研修会
「ACP×成年後見 ～基本のき～ 」

日時：令和４年8月9日（金）
講師：山西福村司法書士事務所
司法書士 福村 雄一 氏





参加者：会 員 ８５名
非会員１７名

大阪で活動されている福村先生から成年後見の基本についてご講義いただきました。成年後見制度は法定後見と任意後見に分かれ、法定後見では本人の判断能力に応じて後見、補助、補佐に類型が決定します。裁判所が後見人等を選任するため、希望する人にならない場合もあります。
一方で任意後見では本人がしっかり理解できる時に「誰に」「何をしてもらう」という公正証書を作成し、必要になった時に任意後見の申立てにより開始となります。本人が望む生活を支援することができる司法書士、ACPの場面や、普段の支援の中で死を迎えた後の心配についてお話があった時には、元気なうちから法律専門職と関係を結ぶのもよいですよ、とのメッセージがありました。

アンケートより
普段から後見人の方と関わることは少ない。貴重な経験になったと共に、今後の業務に活かしていけるようにしたいと感じました。
成年後見の申請(※家庭裁判所への申立て)に壁を感じていましたが、家族や親族に依頼する任意後見などは、自分の利用者にも活用していけるのではと感じました。

～ おしらせ ～

第3回 研修会

日時： 令和4年10月17日（月）
午後1時30分～午後3時30分
講師：天晴れ介護サービス総合教育研所
代表 榊原 宏昌 氏

『自立支援、介護予防、動機づけに役つ！
ケアマネジメント技術の具体策』
～内容～
・自立型支援予防プラン
・ケアマネジメントの技術を高めるコツなど

第４回 研修会

日時： 令和4年11月18日（金）
午後1時30分～午後3時30分
講師：国民健康保険 志摩市民病院
院長 江角 悠太 氏

～内容～
・地域包括ケアシステム、地域医療連携、
超高齢化社会に求められるケアマネの役割など

研修会

日時：令和５年２月17日（金）
午後１時30分～３時30分
講師：ソーシャルワーカーサポートセンター名古屋
代表 浅野 正嗣 氏

～内容～
・ケアマネジャーのためのスーパービジョン
（入門編）

各研修会の申し込みお待ちしています。

【会員の皆様へ フリートーク交流会のおしらせ】
対面での研修が難しい中、「仲間同士の交流の機会が少なくて寂しい」というお声を頂戴しております。
オンライン研修でもできることとして考えたのが、「フリートーク交流会」です。
第３回（10/17）の研修終了後にオンライン上で、ちょっとだけ気楽な語り合いをしましょう！

そういんNEWSは三重県介護支援専門員協会ホームページにも掲載しています http://mie-cma.com/